

6月13日：VN指数は3日続落

週明けのVN指数は4.44%安の1,227.04ポイントで取引を終えた。

インフレ、そしてアメリカの金利引き上げに対する懸念からアジア株式市場は軒並み下げ、VN指数も3週間ぶりの安値をつけた。

同指数は前日に24ポイント近く下落しており、本日も57.04ポイント下落した。

ホーチミン市場の売買代金は9%増の18兆5,200億ドンで、売買代金はここ一カ月で最も多かった。香港ハンセン株価指数、韓国総合株価指数、日経平均株価はそれぞれ3%以上下落しており、OANDAのシニアマーケットアナリストのJeffrey Halley氏は、顧客向けのレポートで「アジア市場はブラックマンデーになっている」とした。

またロイター通信は「今回の下落は米国のインフレ統計を受けて、より積極的な利上げを行うのではないかという懸念、そして中国で新たな大規模コロナ検査がさらに深刻なロックダウンを引き起こすのではないかという懸念が招いた」とした。

VN30指数は4.89%安の1,260.85ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、29銘柄が下落した。

そのうち7銘柄がストップ安を付けた。フーニユアン・ジュエリー (PNJ)、VPバンク (VPB)、バオベトホールディングス (BVH) が含まれた。

またマサングループ (MSN) は6.8%安、軍隊商業銀行 (MBB) は6.7%安とそれぞれ軟調な値動きとなった。

VN30指数の中で、PVパワー (POW) は唯一上昇し、1.7%高で取引を終えた。

外国人投資家はドゥックザン化学 (DGC)、SSI証券を中心に合わせて1,860億ドンを売り越した。

ハノイ市場のHNX指数は5.9%安、UPCoM指数は3.4%安で取引を終えた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。